

# カリキュラム

コースコード：26-126

タイトル	<b>信頼とやる気を育むコミュニケーション研修</b>		
サブタイトル	信頼関係を高め、一体感を生む職場づくり		
研修のねらい	仕事への意識や価値観が多様化する中、個々のモチベーションを高め、やる気を引き出していくためには、職場内での活発なコミュニケーションが不可欠となります。その中で管理者やリーダーは、組織を活性化するためのコミュニケーションスキルを高め、部下との良好な関係を築くことが求められます。本研修では、管理者・リーダーに求められる傾聴力を高め、より良い信頼関係を構築するための方策を演習を通じて学びます。また、職場への浸透・定着、さらには組織活性化へとつなげるための、「人」と「組織」を動かす能力の向上を図ります。		
研修の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者自身と部下の成長の相乗効果を発揮させ、職場の活性化へつなげます。</li> <li>・様々な場面設定によるロールプレイング演習により、新たな気づきを得ます。</li> </ul>		
対象者	管理者、新任管理者 ・自身のコミュニケーション力を高めたい方 ・職場のコミュニケーションを活性化させたい方 ・活発に発言が出る会議の進め方を学びたい方	定員	20名
		研修期間/時間数	2026年9月2日(水)～4日(金)
			3日
		会場	中小企業大学校 瀬戸校 PC実習室
受講料	32,000円		

## 科目構成

日付	時間	科目	内容	講師（敬称略）
9/2 (水)	9時20分～9時40分	開講式・オリエンテーション		
	9時40分～12時40分	管理者に求められる コミュニケーション活性化 の考え方	管理者・リーダーの役割と責任を理解した上で、社員のやる気を高め、企業の魅力向上にもつながるコミュニケーション活性化の基本的な考え方について学びます。 ・企業を取り巻く環境変化の認識 ・管理者・リーダーとしての役割と責任 ・モチベーションマネジメントの考え方	株式会社 クレスコパートナーズ 顧問 内藤 京子
	13時40分～17時40分	やる気を引き出す コミュニケーションの実際 (演習)	コミュニケーションを活性化し、相互の正しい理解と評価がなされることにより、社員のやる気が創出されます。ここでは、様々な場面でどのようなコミュニケーションを図るべきか、ロールプレイング演習を交えて学びます。 ・相互理解のためのコミュニケーション、交流分析 （自分を知る・相手を知る・ふれあいの工夫をする） ・傾聴力の強化 （聴く、質問する・訊き出す、説明する） ・伝える力の強化 （相手を引き付けるプレゼンテーション） ・人を育てる効果的コミュニケーションの極意 （指導の6段階によるティーチング技法） ・「報・連・相」による場づくり ・発言を引き出し会議を活性化するしくみ(ファシリテーションのコツ) ・Web会議での効果的な伝え方 ・人の成長を支援する効果的コミュニケーションの極意 （意欲を引き出し自立を促すコーチング技法） （安心感を与える・相手の真意を知る・モチベーションを高める） ・上手な誉め方、注意の仕方	
18時10分～19時10分 受講者交流会				
9/3 (木)	9時00分～12時00分 13時00分～17時30分	やる気を引き出す コミュニケーションの実際 (演習)	これまでに学んだことを踏まえ、自職場のコミュニケーションについて考えると、管理者・リーダーとしての今後のアクションプランをまとめます。 ・職場のコミュニケーション活性化に向けた課題整理 ・今後のアクションプランの作成	株式会社 クレスコパートナーズ 代表取締役 栗原 道子
9/4 (金)	16時00分～16時30分		コミュニケーション力強化 プランづくり (演習)	
	16時40分～16時50分	閉講式		

講師氏名（敬称略）	略歴
内藤 京子 (ないとう きょうこ) 株式会社クレスコパートナーズ 顧問	日本航空を経て研修講師となる。独自にプログラムの開発を手掛け、企業研修講師25年の実績を持つ。IT企業、大手金融、流通、運輸、通信など様々な業界で新入社員から経営幹部まで幅広く手掛ける。企業ニーズに合わせて研修内容を構築し、わかりやすく、実践的な研修は高い評価を得ている。数多くのプロジェクトリーダーを務め豊富な経験を持つ。印象管理・ビジネスマナーに関する著作多数。
栗原 道子 (くりはら みちこ) 株式会社クレスコパートナーズ 代表取締役	新入社員から管理職まで幅広い研修の講師実績を有する。コミュニケーション、ロジカルシンキング、プレゼンテーション、マナーなど、現場に即した事例で分かりやすく指導。明るい人柄と強みを伸ばす楽しい研修は受講生から高い評価を得ている。「話す・聴く・書く・読む」というコミュニケーション力の向上のため、「相手の立場や気持ちを意識することが大切」と説く。モットーは「楽観的にはじめ、悲観的に準備し、楽観的に臨む」。